

構造改革徹底推進会合

「ローカルアベノミクス（農業・観光・スポーツ・中小企業等）の深化」



B.LEAGUE

# B.LEAGUEにおける地域連携

アリーナを核とした地域活性

2016.11.2

## 大河正明

公益財団法人日本バスケットボール協会 副会長

公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ  
チェアマン

# AGENDA

- B.LEAGUEについて
- 地域活性化の事例紹介
- 拡大にむけた課題

# 01

## B.LEAGUEについて



# B.LEAGUEとは

日本の男子プロバスケットボールリーグを統括するために設立された団体  
野球・サッカーに次ぐ日本で3番目の団体競技プロスポーツが発足

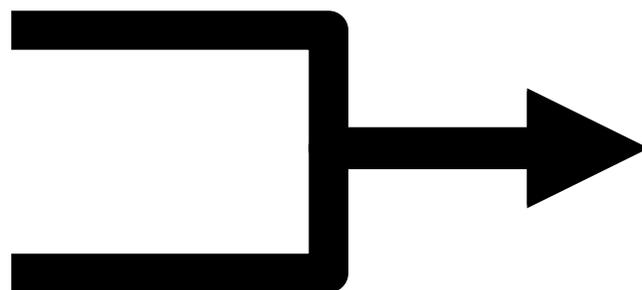


理事長は大河正明  
(初代理事長は川淵三郎)

2015年4月1日設立

2016年9月22日(木・祝)に開幕

既存の国内バスケットボールリーグ（NBA・bjリーグ）の  
2リーグを中止し、新リーグを創設。2016年9月22日に開幕しました！



# 北海道から沖縄まで34都道府県に45クラブ

Jリーグは発足から25年を経て、  
38都道府県に53クラブ



B.LEAGUEは新年度から45クラブ



※B3含む

## 世界ナンバーワンスポーツ

- 全世界で競技者人口はサッカーより上の世界一
- 日本での競技者登録人口はサッカーに続き2番目

### 全世界での競技者人口1位

(男女総計)

4.5億人

バスケット

2.6億人

サッカー

1.0億人

テニス

【出典】FIBA/FIFA/スポーツ・マーケティング・サーベイ

### 国内での競技者登録人口2位

(男女総計)

96万人

サッカー

63万人

バスケット

46万人

テニス

【出典】JFA/JBA/笹川スポーツ財団

# バスケットボールのポテンシャル\_年齢性別



他スポーツと比べて  
若者や女性の支持率が非常に高い

男子高校生 ウィンターカップ



女子日本代表



写真提供: 日本バスケットボール協会

# B.LEAGUEバリュー (組織が共有する価値観)

前例を笑え！

常識を壊せ！

限界を超える！

BREAK THE

BORDER



# B.LEAGUE開幕戦

バスケットボール新時代の幕開け

2016.9.22<sup>[木・祝]</sup>・23<sup>[金]</sup> 国立代々木競技場 第一体育館  
アルバルク東京 VS 琉球ゴールデンキングス

**BREAK THE BORDERな  
B.LEAGUEの開幕戦は…**

**「革新的」「エキサイティング」  
「サプライズ」  
がコンセプト**

# BREAK THE BORDERな9/22開幕戦



世界初！公式戦での全面LEDコートに  
国内最大級の大型ビジョン



# BREAK THE BORDERな9/22開幕戦



豪華なアーティストが、オープニングに彩りを添え、  
光と音の演出で観客を熱狂空間へ

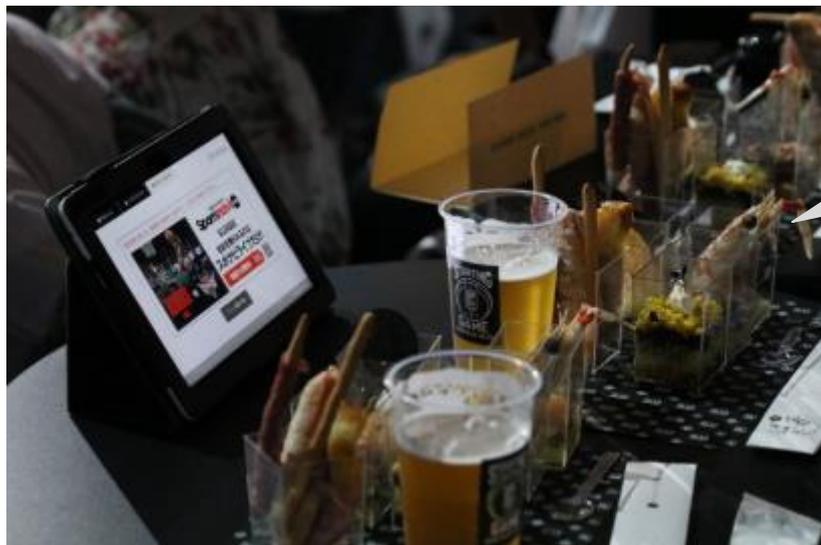


アリーナスポーツイベントで、**日本初導入**したLEDライト  
観客が光の演出に参加することが可能に！

# BREAK THE BORDERな9/22開幕戦

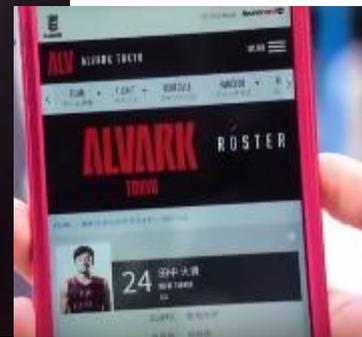


20万円の席もありました  
ソフトバンクと連携しさまざまな取り組みもしました



かざすだけ！の  
ドリンクオーダーサービス

かざして選手サービス



## ・超満員の入場者数

入場者に対する昨年対比は9月22日（木・祝）1,124%

## ・各デバイス視聴者計で8～10%相当の視聴率効果

当日は、フジテレビ系列（地上波）、NHK（BS1）を始めとするテレビ、スポナビライブ、約300万人が視聴したLINE LIVEで中継された。

## ・テレビにおける世代別視聴は、野球、サッカーに比べ若い世代を惹きつけた

50代以上が中心の視聴者層である野球、サッカーに比べ、12歳以下の男女、M1層（20～34歳の男性）を中心に視聴されたテレビ離れといわれている若い世代を惹きつけた。

## ・ネット上でも話題独占

Yahoo!検索ランキング → **20**ワード中 **19**ワードを独占

Twitterトレンドランキング → **20**ワードのうち **半分以上**

# 02

## 地域活性化の事例紹介



- SR渋谷においては青山学院記念館をホームアリーナとして使用し  
地域×大学×クラブの連携を強化
  - 渋谷区、青山学院大学、サンロッカーズ渋谷が連携
  - 表参道駅近くの青山学院記念館をホームアリーナとすることで  
渋谷に新たなスポーツエンターテイメントが誕生。
  - これまでのスポーツ観戦セグメントとは異なる若年層・女性層が  
多く来場。
  - アリーナだけではなく渋谷センター街でパレードを行うなど  
地域交流も実施

- 新潟アルビレックスBBのホームアリーナであるアオーレ長岡は駅直結の立地を生かし、アリーナ周辺の地域を再活性化。
  - 駅・アリーナ直結であり、自動車中心の地域において新たな文化が形成
  - アリーナが市の施設と複合化。イベントスペースでは試合後とに地域の屋台などが出店し、賑わいを見せている。
  - イベントスペースに大型ビジョンを設置することで、滞在時間が伸長
  - アリーナ正面の商店街に行政と連携しクラブ、Bリーグの装飾を実施。複数の飲食店などが新規出店。
  - 市内のみならず市外、県外からの来場者が多く、地域活性に一役かっている。

# ホームタウン活動



地域社会と一体となったクラブ創りを行い、  
スポーツの普及・推進・社会貢献活動を通じ  
地域の発展に貢献していく

活動ジャンル	実施回数 <small>※毎年行われる平均的活動を集計</small>
学校訪問活動(小・中・高校)	365回
バスケットボールクリニック	402回
地域イベントへの参加	852回
その他	244回

年間合計  
1,863回

※【1クラブ平均】約52回／シーズンのホームタウン活動を行っている

※最も多くホームタウン活動を行っているクラブは

「リンク栃木ブレックス」で年間317回の実施実績をもつ

# 03

## 拡大にむけた課題



これまでの「体育館」ではなく、  
地域コミュニティ、さらには防災拠点としての機能を  
備えた、エンターテインメント性の高い  
「夢のアリーナ」を全国各地に建設していく

## 夢のアリーナ

エンターテインメント／地域コミュニティ

快適・清潔な  
観戦環境

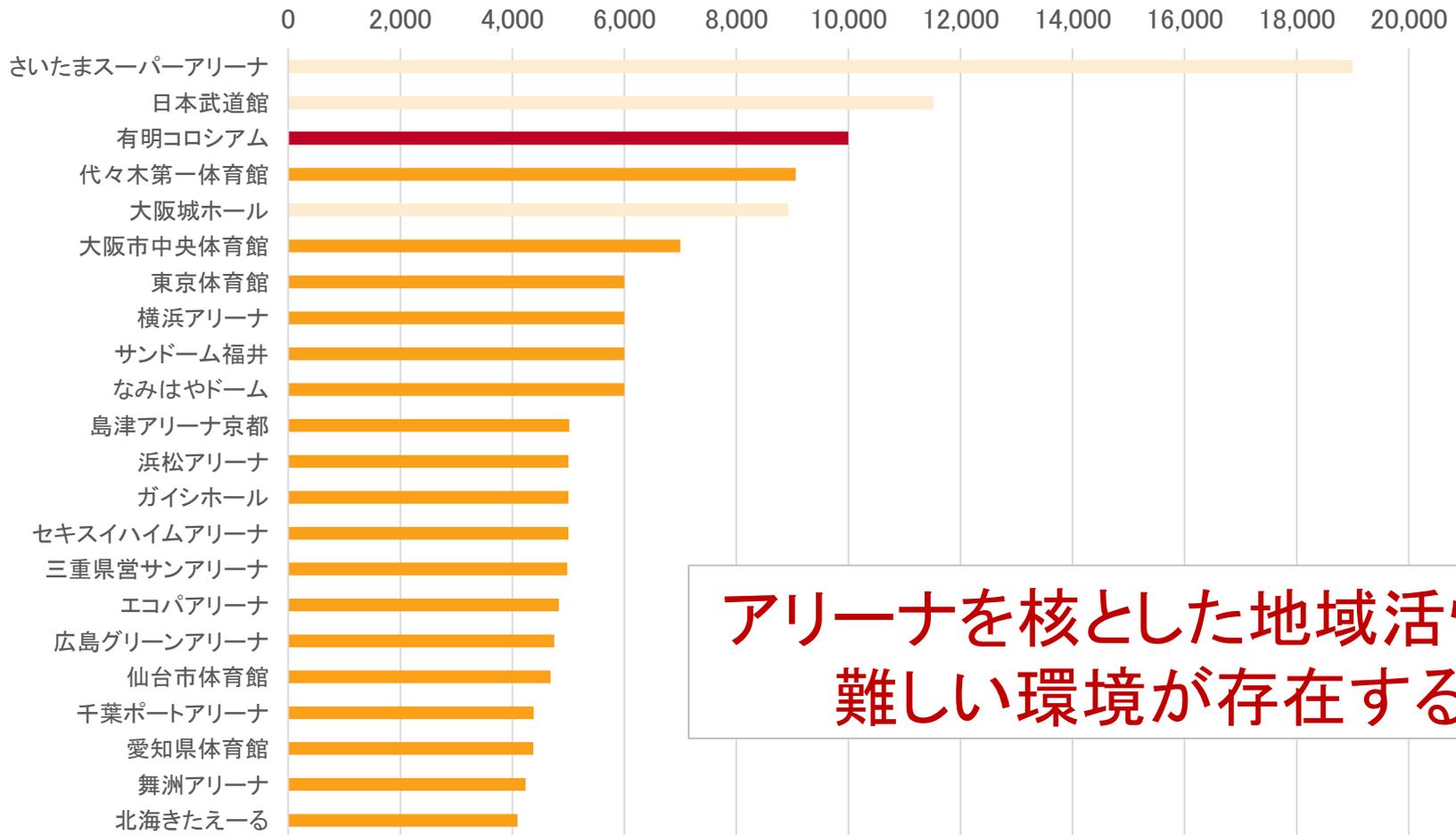
非日常空間の  
提供

最新の  
ITシステム

アクセスの  
よい立地

- 国内で1万人を越え、“観る”を楽しめるアリーナは有明コロシアム程度。

### 国内アリーナ座席数TOP20



アリーナを核とした地域活性が  
難しい環境が存在する

# 拡大に向けた課題



- 夢のアリーナ実現のための課題は2つ。

持続的な地域活性化の実現

## 運営時の課題

持続的に利用される  
事業コンセプト・計画

“複合化モデル”

## 建設時の課題

資金調達・運営スキーム

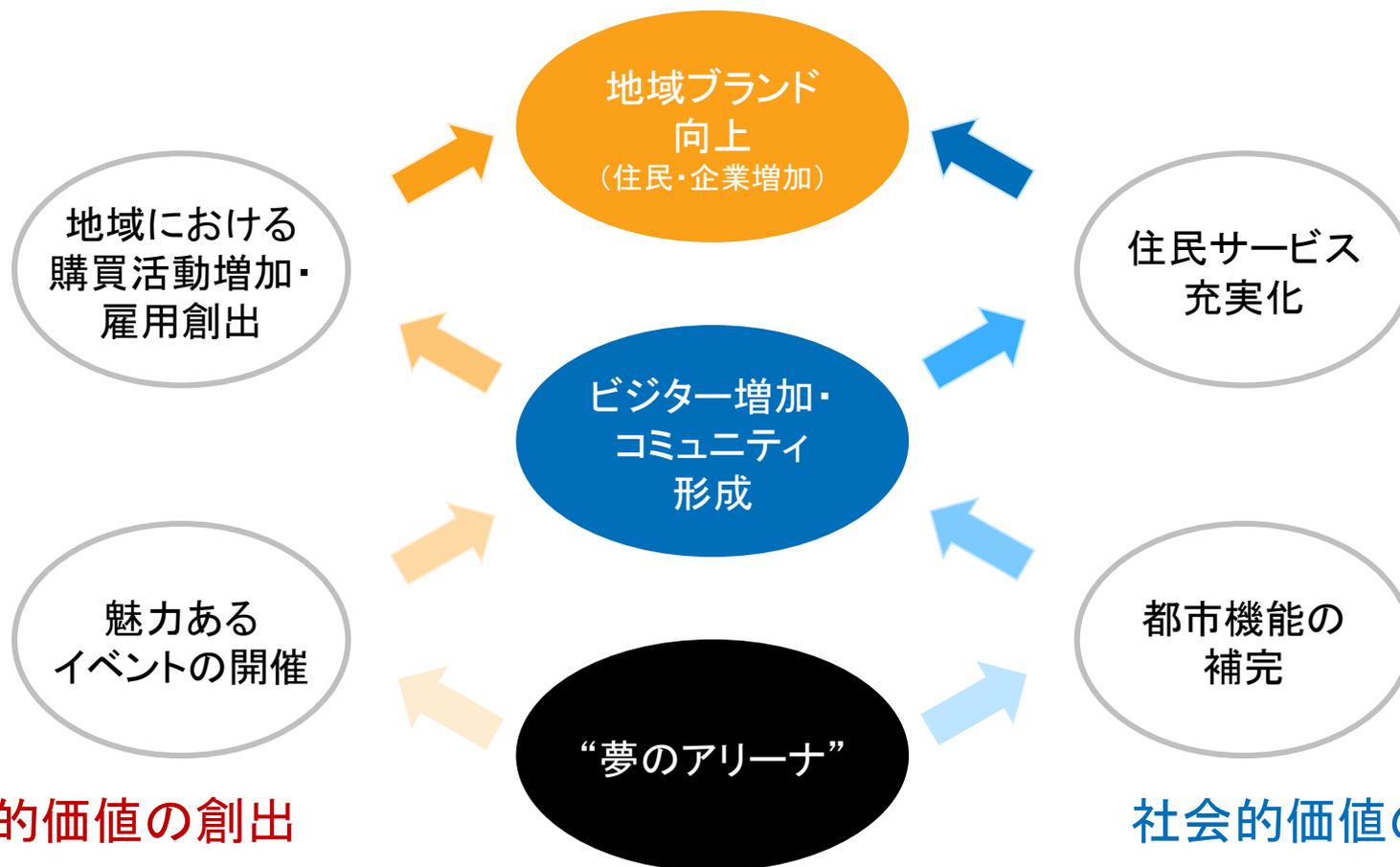
“資金調達の進化”

B.LEAGUEビジョン 『“夢のアリーナ”の実現』

# 拡大のための課題

- アリーナを核とした地域交流により、持続的な地域価値の向上を実現。そのためにも社会的価値のみならず経済的価値を生み出せることが必須。

## 持続的な地域価値の向上



# 拡大のための課題

- 機能的に複合化され、柔軟性の高いアリーナが不可欠

日常

非日常

地域イベント



住民学習



医療施設



スポーツ



コンベンション

コンサート



複合化・柔軟性

共用設備（映像装置・セキュリティ・通信環境など）

そのための共用設備への投資を促進させることが非常に重要

# 拡大のための課題 ICT



- 夢のアリーナ実現のためにはICTの進化が不可欠。富士通は、日本バスケットボール協会、B.LEAGUEのICTサービスパートナーです。
- これらのICTはスポーツのみならず地域のICTインフラとなります。

スポーツをする人を支えるICT			バスケットボールのお客様拡大		地方創生・ダイバーシティ・安心安全な街づくり	
さらなる競技力の向上	進化するアリーナ	競技者とファンとの距離を縮める	お客様起点に根ざしたプロモーション	新たな視聴体験の提供	バリアフリー化の進展	アリーナを中心としたまちづくり
スポーツIoT	スマートアリーナ モーショントラッキング	データマネジメントサービス	デジタルマーケティング プラットフォーム	自由視点映像	行動予測シミュレーション バリアフリー経路案内	観光・防災ソリューション

<b>映像配信技術</b> 最新の映像伝送技術 H.265 とネットワーク耐性技術を使用した 4K, 8K 映像配信技術	<b>モビリティ技術</b> 最先端のセンシング技術で利用者を見守り、状況に合わせて判断や行動を支援するセンサー・デバイス技術	<b>広域人物センシング技術</b> 多数のカメラやセンサーなどから広範囲の人の流れを認識し、スムーズに誘導する IoT 技術	<b>デジタルサイネージ技術</b> 外国の方でも、街頭で翻訳して、発着に情報入手し、災害時には避難場所を提示する技術	<b>統合 ID 認証技術</b> 手のひら静脈認証や虹彩認証など様々な管理されているIDを統合する技術	<b>サイバーセキュリティ技術</b> 外部機関と連携し、サイバー攻撃対策に対する社内実践の運用ノウハウ・技術をベストプラクティスとして提供	<b>ユニバーサルデザイン</b> 人々が安心・安全・快適、そして豊かに生活できる社会を目指して、ICTのユニバーサルデザイン「バリアフリー」を推進	<b>デジタルマーケティング基盤</b> ビッグデータを活用し、個々の顧客ニーズに合わせた価値を提供	<b>チケットングサービス基盤</b> 超大量かつ海外IP等と連携し、レガシーを見据えたチケットングを提供
<b>ネットワーク技術</b> SDN 最適化   高密度 Wi-Fi   ユニバーサルコネク								
<b>セキュリティ技術</b> 手のひら静脈認証   バイオメトリック・コード認証技術   行動特性分析   秘匿化技術								
並列分散、複合イベント処理 映像とデータの融合 機械学習、人工知能 キュレータ育成	<b>ビッグデータ</b>	コンテナ技術 サービスマネジメント技術 集中管理、オペレーション基盤 免費構造、ファシリティ基盤	<b>データセンター</b>	ヒューマンセントリックIoT デジタルビジネスプラットフォーム MetaArc フィンテック、スマートなものづくり	<b>IoT</b>	ヒューマンセントリックAI ZInral ディープラーニング、機械学習、強化学習 脳科学、社会受容性、シミュレーション	<b>AI</b>	

B.LEAGUEではパートナー企業と共に夢のアリーナ実現に向けた取り組みを行っています。

# 地域に与える価値\_機能・経済・ブランド価値の提供



スポーツ+その他複合機能が地域に誕生することによって  
生じる地域へのメリット(※資料一部抜粋)

全体コンセプト=アリーナを核としたまちづくり

## 複合化モデル

## 機能的価値

## 経済的価値

## まちとしてのブランド価値

+

テーマパーク型

+

ショッピングモール型

+

トレンド発信型

+

ツーリズム誘引型

+

ヘルスケア強化型

スポーツ観戦  
応援活動を通じた地域  
コミュニティの形成

地域の  
娯楽機能  
の補完

地域の  
購買機能  
の補完

地域の  
医療機能  
の補完

### 【商業部分】

- ・大規模建設資金需要の創出
- ・域内事業収入増による  
税収増
- ・施設従業員の雇用機会  
拡大

↑  
【スタジアム部分】

- ・域内観光客の拡大
- ・話題性のある新たな  
観光スポットの創出

- ・地域を代表するプロ  
スポーツ団体として  
域外に誇れる施設
- ・広域から人が集まる  
著名な集客施設

- ・まちのファッションシンボル
- ・流行に敏感な若者・域外からの  
観光客も取り込み可

- ・まちの新たな観光資源・域内  
外への情報発信拠点として、  
域外からの観光客も取り込み  
可

- ・地域住民が健康に安心して暮ら  
せるまちづくり

# 地域に与える価値\_経済効果試算



## 複合化モデル

期待される経済効果(※2万人収容場合)

+

テーマパーク  
型

【経済効果】年間約600億円～610億円  
【波及効果含めた新規雇用創出人数】約3600人  
【税収効果】年間23億円

+

ショッピング  
モール型

【経済効果】年間約360億円  
【波及効果含めた新規雇用創出人数】約2200人  
【税収効果】年間14億円

+

トレンド  
発信型

【経済効果】年間約76億円  
【波及効果含めた新規雇用創出人数】約470人  
【税収効果】年間2.9億円

+

ツーリズム  
誘引型

【経済効果】年間約43億円  
【波及効果含めた新規雇用創出人数】約270人  
【税収効果】年間1.6億円

+

ヘルスケア  
強化型

【経済効果】年間約39億円  
【波及効果含めた新規雇用創出人数】約240人  
【税収効果】年間1.5億円



アリーナ  
&  
スタジアム



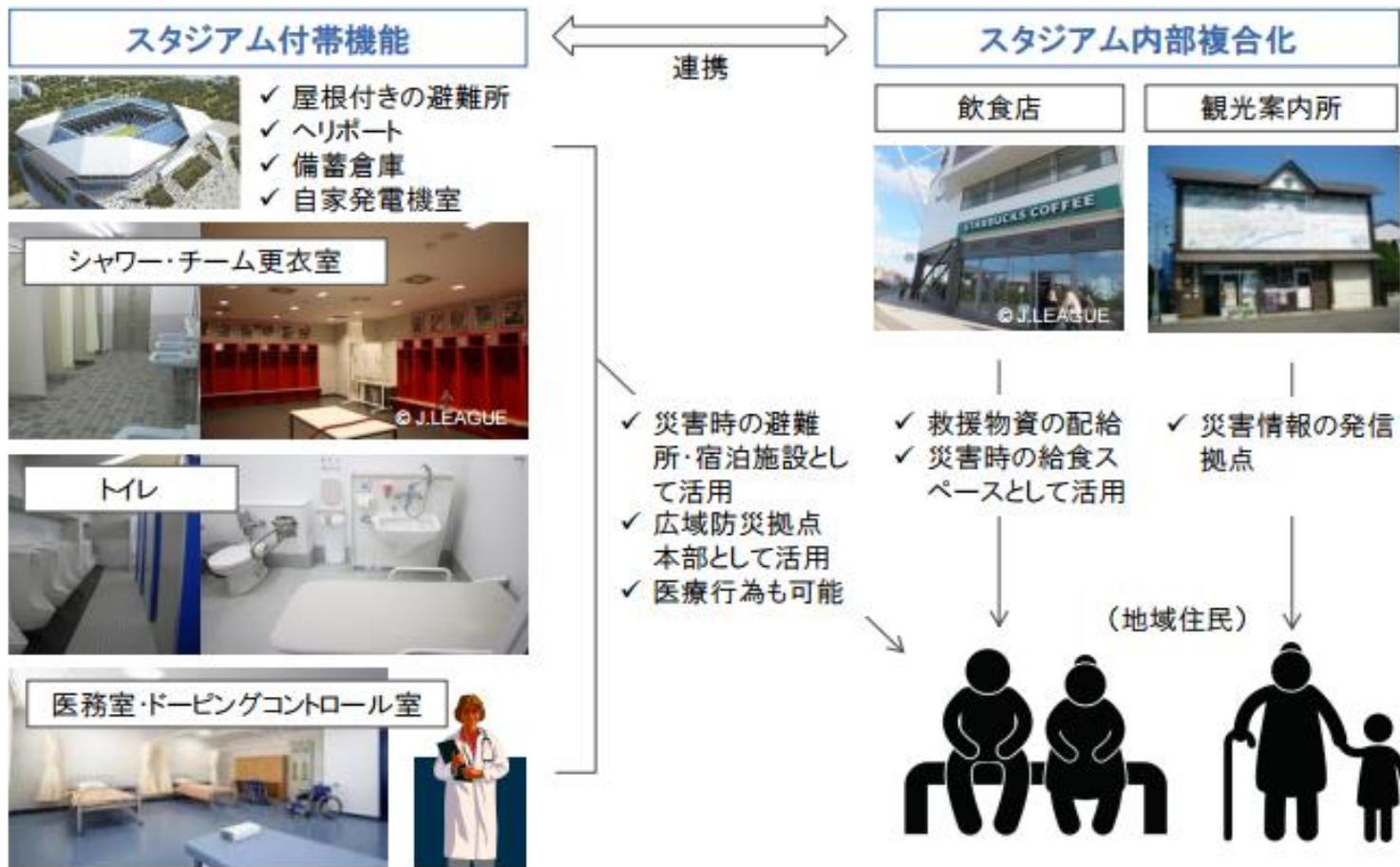
# 地域に与える価値\_①地域医療・介護への貢献

スタジアムの内外に医療・介護施設を複合化させることで、地域医療の質や雇用に対する貢献が可能(※資料一部抜粋)



# 地域に与える価値\_①地域防災機能への貢献

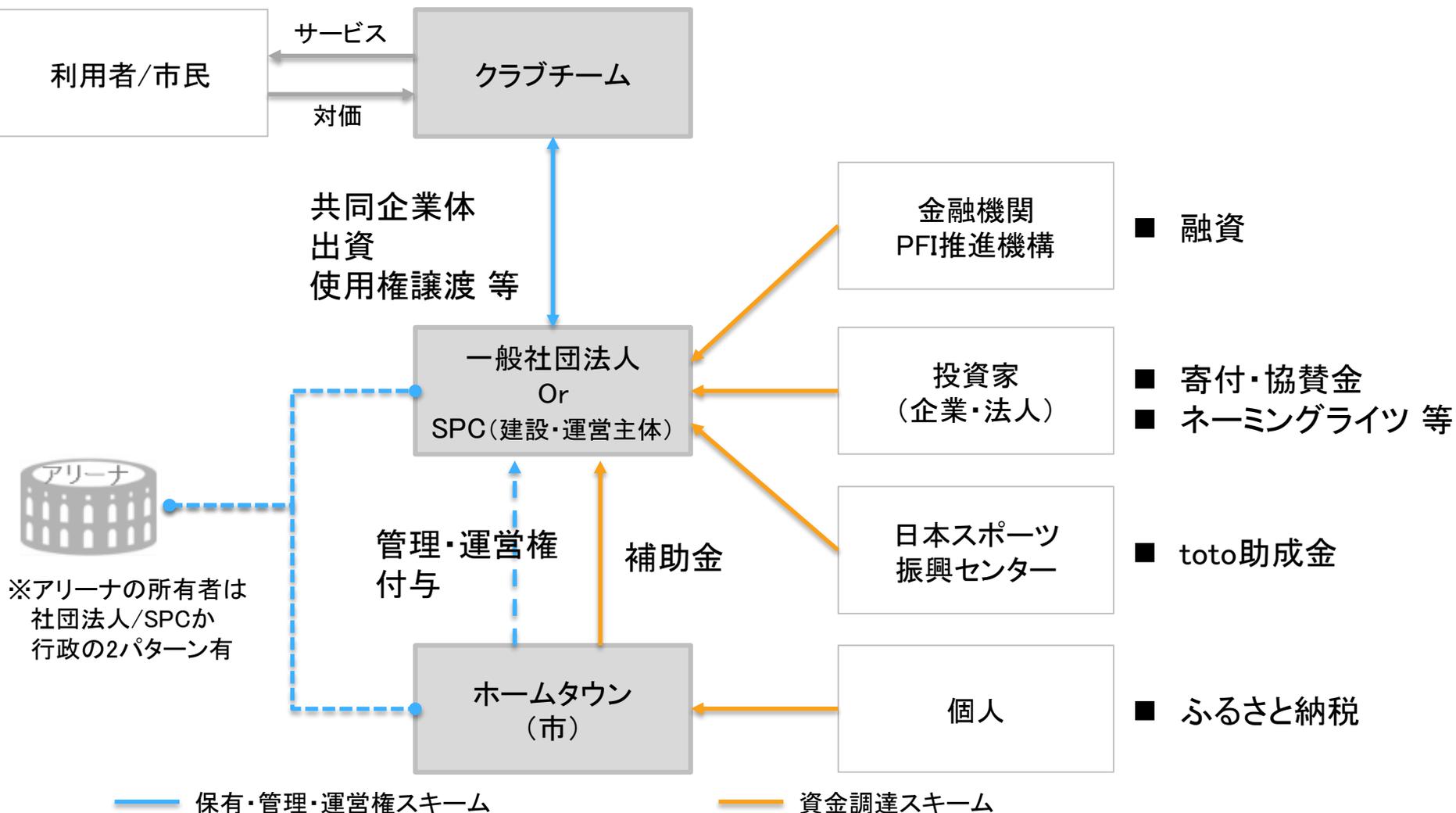
スタジアムに付帯する設備や複合施設を有効利用することで地域の防災拠点としての貢献が可能(※資料一部抜粋)



# Bリーグが目指すアリーナのビジネスモデルとは



『夢のアリーナ』を実現するためにはビジネスモデルの進化も不可欠。



# 課題解決に向けた行政への期待



- 夢のアリーナ実現、地域活性のためには行政の協力が不可欠。

## 持続的な地域活性化の実現

- ✓ 特別区の設置（公園法適応外など）
- ✓ 税制面の優遇（固定資産税 等）

- ✓ 地域活性の核となるアリーナガイドライン（地方自治への周知）
- ✓ 共用設備・ICT投資促進（補助金 等）

### 運営時の課題

持続的に利用される  
事業コンセプト・計画

“複合化モデル”

### 建設時の課題

資金調達・運営スキーム

“資金調達の進化”

B.LEAGUEビジョン 『“夢のアリーナ”の実現』



**B.LEAGUE**

THANK YOU.